

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第142回

公益社団法人 家庭問題情報センター
鈴木 克明 (すずき かつあき)

子どもの想いにどう向き合おうか

真由美 (仮名)さんは38歳、半年前に夫の健一 (仮名)さんが浮気していることが分かり、5歳になる長男太一 (仮名)君を連れて実家に戻り別居となりました。夫からは復縁と長男との面会交流を求める申し入れがあり、面会には応じることにしましたが、面会中に太一君から「3人で一緒に行こう。何でお家に帰れないの?」と言われ、対応に困り相談に訪れました。

真 (真由美) 夫とは、10年前に職場結婚し、共働きで生活が続けてきました。夫は、自分の考えを押しつけてくるころころがあり、意見が合わず言い争いになることも度々ありました。子育てには熱心で家事もよく手伝ってくれますので、我慢して生活が続けていました。夫は、子どもを相手にするのが上手で、長男は父親によく懐いていました。

ところが、半年ほど前に、夫が職場の同僚と浮気をしていることが分かり、許せないとの思いから、長男を連れて実家に戻り別居となりました。長男には、おばあちゃんのところ遊びに行こうと言って連れて行き、保育園も近いので両親の助けを借りて通園が続いています。夫に対して離婚を求めましたが、早く戻ってきてほしい、太一にも早く会わせ

てほしいと言われたので、弁護士を依頼して現在離婚協議中です。

カ (カウンセラー) 離婚の意思は固いんですね。

真 はい。夫からは謝罪とやり直したいとの連絡が弁護士を通じて今でもきますが、やり直すつもりは全くないと回答しています。

カ 面会交流についてはどのようにお考えですか?

真 太一が父親に会いたがっていたし、父親の存在や交流は太一にとって大事だと考えていましたので、面会交流には応じることにしました。会わせたくないという思いもありましたが、復縁に応じる考えは全くないことをはっきりと伝え、面会中、太一に夫婦関係の話はしほしないこと、約束を破った場合は今後面会交流

に応じないと条件を出し、了解してもらい面会を開始しました。

カ 今回のようなことがあると、そんな父親には面会させないという人もいますが、太一君のことを中心に考えてあげたんですね。

真 釈然としない思いはありましたが、夫婦の問題は夫婦のことで、そのことと親子の関係は別だと考え直して決断しました。

カ 太一君は喜んででしょうね。

真 太一も喜んでくれて、面会が終わって戻ってきた後も様子に変化がなかったのですが、夫も面会中の約束を守ってくれたのだと考え、月1〜2回は面会に応じることにしました。ところが、2回目の面会時に、太一が「ママも一緒に行こう」と言ってきて、夫からも促されたので、

嫌だったのですがショッピングモールで3人一緒に過ごしました。3回目の面会時も、3人で一緒に過ごしましたが、太一が私たちに向かって「ケンカしてるの？仲直りしないの？」と言って私と夫の手を繋げせよとするので困ってしまいました。

カ 太一君にとっては、ママとパパと3人一緒に一番なんでしょうね。

真 それはよく分かるのですが、夫とやり直すつもりは全くないので困っているところです。

カ 太一君には、どのように説明しているんですか？

真 太一からは、「いつお家に帰るの？」「なんでパパは一緒にじゃないの？」と最初よく聞かれましたが、「もう少しここにしようね」とだけ伝え、それ以上の説明はしませんでした。しばらくして、太一から聞いてくることなく、納得したものと思っていました。ところが、面会交流を開始してから、また聞いてくるようになったんです。

カ お子さんが小さくても、年齢に応じた説明は必要です。説明がないと、同居親に何も聞けなくなってお子さんは、自分が悪い子だから両親が喧嘩しているのではないかと自責感を持ってしまうことがあると言われています。過度な自責感、自信や自己肯定感を損ない、成長してからの人間関係にも影響が出る場

合があると言われています。「ママとパパは仲良くできなくなったので一緒に暮らせない」「仲良くできなくなったのは、あなたのせいではない」ということをしっかりと伝えてあげることが必要だと思います。

真 3人で面会交流することはどうなんでしょう？

カ 3人で面会交流をしていると、また一緒に住めるようになるのではないかと、子どもが復縁願望を膨らませてしまうことがあると言われています。結果的に復縁が実現しなかった場合、子どもは大きく落胆して傷ついてしまうこともあるので注意が必要です。やり直す可能性が絶対にならないのであれば、そのことをお子さんに分かりやすく伝えて、健一さんにも、太一君の復縁願望を膨らませ過ぎないように協力を求めているかができようか。

真 子どもの想いというのは、どう捉えたらいいんでしょうか？

カ 通常子どもは、両親と一緒に仲良く生活したいと考え、両親それぞれから好かれるたい、愛されたいと思っています。そのため、それぞれの親を前にすると、目の前の親の話に合わせてきたり、目の前の親が望む発言をしがちになります。誰と一緒に住みたいかという問いかけに、訊ねてきた親それぞれに対して、「一緒に住みたい」と矛盾した発言をすること

も決して珍しくはありません。相手に否定的な発言が子どもからあった場合でも、自分が聞いているからそのような発言になっているのではないかと想いを巡らせることが大切だと思います。

真 今後どのようにしていけばいいのでしょうか？

カ 太一君に対しては、ママとパパは一緒に住めないこと、それは太一君のせいではないこと、今後もパパとは定期的に会えることをしっかりと伝えて下さい。健一さんとの間では、夫婦関係の問題が太一君に影響を与えないように、父母が異なる内容の話を太一君に言っ

て混乱させることがないよう確認が出来れば、3人で会うことは太一君にとっていいことだと思います。

真 分かりました。帰ったら太一に今後の生活をよく説明して、面会交流も、夫と話し合い、太一の希望に沿いながら続けていきたいと思っています。

.....
カ カウンセラーは、真由美さんと夫の健一さんが、冷静に離婚協議を進め、協力して面会交流に取り組むことで、太一君の思いに沿った父子交流がいつまでも続くことを祈りながら真由美さんを見送りました。

